

平成 30 年 7 月 4 日
在宅医療介護連携推進協議会

磐田市在宅医療・介護連携推進事業 取り組み状況と今後の推進

- ◆=これまでやってきたこと（今後も継続）
- ★=29 年度取り組み事業
- ◎=30 年度の更なる取り組み事業

■地域の医療・介護資源の把握

地域の医療機関や介護事業所等の住所、情報等を把握し、これまでに関係機関が把握している情報と合わせて、リスト化しマップを作成、活用する。

< 1 > いわた医療・介護ガイドブックの発行

- ◆ いわた医療介護ガイドブック 2016 年版の発行
 - ・平成 28 年 4 月に全戸配布
 - ・市ホームページに「医療・介護施設ガイド」として検索機能付で開設、情報更新

< 2 > 静岡県在宅医療・介護連携情報システム「シズケア*かけはし」の登録推進

- ◆ システムについての説明会を開催
 - ・平成 28 年度、県医師会の協力を得て 3 回開催
- ◎ 磐田市在宅医療介護連携情報システム登録事業費補助金の創設
 - ・平成 30 年度システム登録料のうち、1/2 を補助する。

■在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状の把握と課題の抽出、対応策等の検討を行う。

< 3 > 磐田市在宅医療介護連携推進協議会

- ◆ 磐田市在宅医療介護連携推進協議会の開催
 - 年 3 回

< 4 > 在宅医療や救急医療・介護の連携に係る課題抽出のための検討部会の設置

- ◎ 検討部会の開催
 - 医療・介護関係者に磐田市消防本部を含めた検討部会の開催

■切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

地域の医療・介護関係者の協力を得ながら、切れ目なく在宅医療と在宅介護が一体的に提供される体制の構築に向けて、必要な具体的取組を企画・立案する。

< 5 > 地域の課題把握

- ◆ 看護職の需要調査、訪問診療、訪問歯科診療、訪問栄養指導等の状況把握
- ◆ 訪問体制づくりの検討

■医療・介護関係者の情報共有の支援

情報共有の手順等を含めたツールを整備するなど、地域の医療・介護関係者間の情報共有を支援する。

<6> 地域の状況把握

- ★ 磐田市・森町の病院、訪問看護ステーションの代表者がつながる会における、看護サマリーの検討
- ★ 磐田市立総合病院と磐田ケアマネ連絡会の入退院時の情報共有についての話し合い

■在宅医療・介護連携に関する相談支援

地域の在宅医療・介護連携を支援する相談窓口を設置し、医療・介護関係者及び地域包括支援センター等からの相談を行う。また、必要に応じて、退院の際、地域の医療関係者と介護関係者の連携できるようにつなげ、患者・利用者又は家族の要望を踏まえて、地域の医療機関や介護事業所等を紹介する。さらに、相談窓口の役割が関係者等に明確に理解されるよう、「在宅医療・介護連携支援センター」等の名称を設定し、周知する。

<7> 磐田市在宅医療介護連携支援相談窓口

- ◆ 平成28年度に健康増進課内に医療・介護専門職のための相談窓口を設置
平成28年度：28件 平成29年度：20件

■医療・介護関係者の研修

地域の医療・介護関係者の連携を推進するために、多職種でのグループワーク等の研修を行う。また、必要に応じ、相互の理解を深めるため、医療関係者に介護に関する研修会を、介護関係者に医療に関する研修会を開催する。

<8> 顔の見える関係づくり

- ◆ 多職種連携のための事業所間交流研修

<9> お互いの専門性や役割を理解することと地域の課題抽出

- ◆ 多職種グループワーク研修：事例検討と地域の課題抽出
- ◎ 救急医療についての課題抽出のためのグループワーク研修

<10> 実際の連携をスムーズにするための検討会

- ★ 磐田市立総合病院と健康増進課共催の磐田市の医療・介護関係者のための事例検討会

■地域住民への普及啓発

在宅医療や介護に関する講演会の開催、パンフレットの作成・配布等により、地域住民の在宅医療・介護連携の必要性について周知、啓発をする。

<11> 最期までどう生きるかを考える機会

- ◆ 地域包括ケアを考えるシンポジウムの開催
- ◎ 地域包括ケアを考えるシンポジウムの開催：家族の立場から

<12> 地域での普及啓発事業

- ◎ 交流センターでの普及啓発事業
磐田市医師会の協力を得て、交流センターで在宅医療やかかりつけ医の講演を行う

<13> 普及啓発のための媒体の作成

- ◎ パンフレットの作成